

## 入学式 新入生 5 名を迎えて

校長 大谷 京司

4月10日(水)、新たに5名の児童を迎え、令和6年度入学式を実施しました。

2年生にリードされながら会場に入場する1年生は緊張した面持ちでしたが、優しく2年生から話しかけられたり、上級生からメダルのプレゼントを首にかけてもらったりすると、次第に表情も柔らかくなってきました。

在校生から「手のひらを太陽に」の歌がプレゼントされた後、新入生から一言ずつ、小学校でこんなことをしてみた

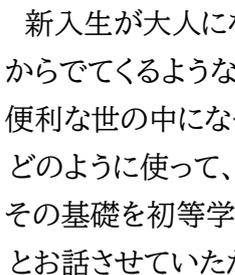
という「希望の言葉」

が述べられました。

5人ともはっきりと

自分の言葉で思いを語る

ことができ、大変堂々としていて感心しました。



新入生が大人になる頃の社会というのは、ドラえもののポケットからでてくるような未来の道具が現実のものとなっていて、大変便利な世の中になっていると思われます。私からは、便利な道具をどのように使って、みんなが幸せな社会をどのように創っていくのかその基礎を初等学校で学んでほしいとお話させていただきました。



式の最後には、前校長の小島先生と七沢幼稚園の先生方が白竜の舞を演じてお祝いをしてくださいました。子どもたちは龍の頭が口を開けて自分に近づいてくると、「キャー！」と叫びながらも満面の笑みで威勢のよい白竜のお祝いを楽しんでいました。

令和6年度、新入生を加え32名でスタートします。これからの学校生活が全児童にとって、かけがいのない体験・学びの場となるよう職員一同一丸となって、七沢希望の丘初等学校らしい教育を実践していきたいと思ひます。



## 七沢学園で全校体育

学期に1回は広い校庭で思う存分体を動かす機会をということで、今回は七沢学園のグラウンドをお借りして鬼ごっこグループ対抗リレーを行いました。

リレーのバトンパスが少しでもスムーズになるよう各グループで練習して本番へ。割れんばかりの声援の中、全力で駆け抜ける姿はとても力強く輝いていました。



## 玉川アルプホルンクラブ演奏会

4月16日(火)、スイスのアルプホルン演奏家のマイク・マウラーさんの来日に合わせて、地域で活動されている玉川アルプホルンクラブの皆さんが、本校で演奏会を開催してくれました。

リズムカルなスイスの民族音楽は、聴いているととても楽しい気持ちになり、1曲終わると、「ヒョーホッホ」といった陽気なかけ声がかかり、さらに会場が沸きます。

マイクさんの演奏するアルプホルンは、とても荘厳な印象ですが、低音のずっしりとした音から繊細な高音まで1本のアルプホルンから発せられるのがとても不思議で、プロの技を感じさせられました。



マイクさんの演奏後には、「どうやって高音を出すのですか」「いつ頃からアルプホルンを始めたのですか」などの質問が子どもから出て、丁寧に答えていただきました。また、アルプホルンを実際にもたせてもらったり、開口部をのぞかせてもらったりもして子どもたちにとって大変貴重な体験となりました。

## 1年生も上級生

今年も幼稚園の砂運びのお手伝いをさせてもらった1・2年生。

入学したばかりの1年生も、園児が砂の入った重たいバケツを運んでいるのを見ると、すかさず手助けしてくれて実に頼もしかったです。

